

パピルスカンパニー

地方の文具卸から世界レベルのモノづくりへ

「デリバリーパック」で飛躍を遂げる

何

か社会に役立つ製品を自らの手で作りたいたいという思いを持っておりました。そこで、商社機能だけではなく、メーカーとしてモノづくりに挑戦することにしたのです」と、話すのは株式会社パピルスカンパニーの横山太一社長。



横山 太一 社長

める。そして、常に新しい領域にチャレンジする同社が、メーカーとしての第一歩を踏み出したのが、伝票をタンボールに貼り付けて届ける「デリバリーパック」の製造である。

11カ国に顧客

飛躍の理由は品質管理にあり

商品はともに納品書や請求書を貼り付けて送ることで、取引の透明性を高め、また伝票の紛失を防ぎ、再発送の手間を省く。ポケットタイプや完全密封タイプ、中が透けて見えないタイプのものから、チラシやカタログが入る大型のA4タイプなど、数種類を取り揃え、ユーザーニーズに

「基本タイプとは別に、会社ロゴやイラストを印刷したり、チャックを取り付けたりもできます。環境への意識が高い欧米では、有機溶剤系の糊を使わないホットメルトコーティングを希望されるユーザーも多いです」(横山社長)

「日本企業の製品は、確固たる信頼を得ています。私たちが、そうした世界の期待を裏切らない製品を作り続けた」と思っています」

生産は平成16年、同社全額出資子会社として設立した、中国の神戸粘着製品(シンセシ)ン)有限公司が担当している。フィルム製の製膜から糊引き、

製袋までを一貫して行える体制を構築。需要増に伴い、今年2月に生産ラインを増やし、1日約30万枚の生産が可能となった。

横山社長自身、頻繁に工場を訪れ、特に品質管理に力を注いでいるという。「メーカーとして、強い思いのもと立ち上げた工場です。若いスタッフが多いのですが、品質に対する意識も高く、お客様の要望に高いレベルで応えられる設備、陣容が整っていると自負しております」

「今後も展示会などへの出店を通し、「デリバリーパック」の認知度を上げるとともに、国内外を問わず、社会に貢献



中国工場での作業風景



「デリバリーパック」

できる企業を目指す同社。「変革」を掲げる横山社長のその眼が次に見ているのは、いかなるものであろうか。今後とも目が離せない注目の1社である。(森)

【会社データ】

本社 兵庫県神戸市中央区加納町4-10-21

☎ 078-321-1139

設立 昭和42年

資本金 4400万円

社員数 18名

事業内容 粘着製品の製造、紙製品ならびに紙・文具類の製造販売・輸出入業務、オフィス家具の販売、不動産賃貸業、食料品の販売

<http://www.papirus.com>